大腿骨近位部骨折の手術を受けられる患者様へ　　入院診療計画書（患者用パス）

疾患名

病棟（病室）　（　　号室）　患者様氏名　　様　主治医　　印　主治医以外の担当者

特別な栄養管理の必要性　有　・　無　　サイン　　説明年月日　　年　　月　　日

月日	／　～　／	／		／	／　～　／	／　～　／	／　～　／	／
経過	入院～手術前日	手術当日(前)	手術当日(後)	術後1日目	術後2～7日目	術後8～10日目	術後11～16日目	術後17日目以降
症状								
達成目標	疼痛のコントロールができる 心身共に安定した状態で手術を受けることが出来る		疼痛のコントロールが出来る 術後感染の徴候がない　合併症の症状がない		転倒予防を理解できる			
活動・安静度	ベッド上での安静です 上半身は起こせます		許可がでるまで 起き上がれません	足が上がれば体重をかけることができます　許可がでれば車椅子に乗れます 状態により徐々に体重をかけて歩行訓練を開始します				
食事	夕食から食事を提供します 手術前日の21時からは絶食です 水分は摂取できます	手術の時間によって水・お茶を飲んで良い時間が決まっています 看護師がお伝えします	食事は食べられません 	朝食：ゼリーが出ます 昼食から元の食事が出ます →	→	→	→	→
内服・点滴	現在内服中の薬は入院後看護師にお渡し下さい お調べします 必要時点滴します 	朝、必要な薬があれば飲んでいただきます 点滴を行います	翌朝まで持続点滴を行います　痛みが強い時は痛み止めの薬を使用します	痛み止めが出ます(3日間) 必要な薬は内服していただきます 抗生剤の点滴を行います 				
清潔・排泄	尿の管が入ります			清拭を行います 離床ができたら尿の管を抜きます		傷の状態によりシャワー浴が出来ます 無理な場合は清拭を行います　入浴日については看護師にお尋ね下さい		傷の状態によりシャワー浴か入浴ができます
検査	入院時採血・レントゲン・心電図等の検査をします		レントゲンを撮ります	朝、採血があります		9日目に採血とレントゲンをします	術後16日目に採血があります	
処置	骨折している方の足を引っ張る処置をします 足の下に枕を入れて挙上します 必要時弾性ストッキングやフットポンプを使用します 患部を冷やします →	→	患部を冷やします →	→	→	→	→	
			適宜傷の消毒・ガーゼ交換があります ストッキング・フットポンプは続けます 				傷の状態を見ながら抜糸を行います	
観察	適宜足の状態や血圧などをチェックします		頻回に血圧や熱の測定があります　足の状態も観察します	適宜傷の観察や血圧や熱の測定を行います				
リハビリ	必要があれば術前よりリハビリを実施しま			ベッド上でのリハビリ開始します　可能であ座位→車椅子→立位へ進めていきます	歩行や日常生活の自立に向けて運動を実施します →	→	→	→
教育・説明・指導	手術日までに手術についての説明を医師より行います 入院についての説明を看護師から行います 手術の書類にサインをいただきます		術後、医師から話をします	離床についての説明をします	転倒予防について説明します			17日目栄養指導をします
退院後の治療計画	入院から退院支援について医療相談員より説明があります				必要があれば介護保険の説明をします 		足の状態によりリハビリの継続が必要な場合があります＊その場合は転棟や転院が必要です。 退院時予約票をお渡しします	
退院後の治療上の注意点							退院後の注意点について説明を行います 次回受診日の説明を行います	
その他療養計画	〈看護〉							

・診療内容等は現時点で考えられるもので、今後の検査等を進めていくにしたがって変化する場合もあります。その場合は再度説明いたします。
・入院期間については、現時点で予想されるものです。
　医師より診療計画内容について十分説明を受けましたので、実施に同意します。

年　　月　　日　患者署名